「義務化で皆保険崩壊」

撤回求め横浜地裁で初弁論

オンライン神奈川訴訟

レセプトオンライン義務化撤回を求める神奈川訴訟の第1回口頭弁論が9日、横浜地裁で行われ、入澤彰仁原告団幹事長、平尾紘一原告団長、藤田倫成医師、小笠原敏夫歯科医師ら4人がそれぞれの立場から意見陳述した。横浜地裁には90人ほどが詰めかけ、抽選で選ばれた48人が法廷を見守った。テレビや新聞などマスコミ各社も取材に訪れた。

初弁論に臨む原告団＝9日、横浜地裁

平尾氏は、患者情報の漏えいの危険性を強調した上で、患者がオンライン以外での請求を求めた場合は事実上、保険制度が使えなくなり、国民皆保険制度の崩壊を意味すると指摘。「諸外国でオンライン請求の義務化を実施している国は、私の知る限りではない」と理不尽さを訴えた。

今年で歯科医師として60年目を迎える小笠原氏は、「親子4代にわたり来院される患者さんも少なくない。義務化が撤回されなければ、地域の患者さんたちに大きな迷惑をかけることになる」と義務化に断固反対の意思を示した。

閉廷後に開かれた報告集会では、大阪訴訟の代理人を務める西晃弁護士と、原告団副団長の坂口道倫医科協会副理事長が裁判の勝利にむけて連帯のあいさつを述べた。大阪訴訟では、25日に第2回目の口頭弁論を予定しており、歯科協会の小澤力副理事長が意見陳述を予定している。

「さっ、裁判長！」

横浜地裁前は傍聴券を求める行列が長く続き、相当に緊張した雰囲気に包まれた。レセオンライン義務化撤回・神奈川訴訟の第1回口頭弁論は、横浜で開業されている4人の先生方がそれぞれ役割分担をして、知的で説得力のある意見を熱く陳述されました。

「治療とは関係ない、費用の請求方法で廃業をせまられている。漏洩を心配する患者さんからオンライン以外の方法を要望されると、健康保険は使えない。手書きの紙レセプトを提出している弱小零細診療書は廃業せざるをえない。零細な開業歯科医も費用負担に耐え切れない」

荘厳かつ美しいレトロな横浜地裁の法廷は、医師人生を懸けた真摯な弁論に緊張し静まりかえりました。

「あれっ？　まさか？　うそー！」。傍聴席がざわつく。なんと、裁判長があくびしたり、コックリしたりしているではないか。両隣の裁判官もチラッチラッと心配そうに裁判長を横見している。この法廷で唯一、緊張感のない人は裁判長であった。まさに原告1744名に対する不遜な態度であり、全国の医師に対する冒涜である。決して許されることではない。

銀杏並木が似合う裁判所を後にしながら、なぜか、熱い闘いのマグマが体中にみなぎった。（大阪訴訟原告団副団長・坂口道倫）

大阪ベイエリア

ムダがムダよぶ埋立開発

快晴の朝、ベイエリア海上視察のために南港フェリーターミナル船着場に数十人が集まった。黄色い救命胴衣を着て、チャーターした漁船に乗り込むのは初めての体験だ。

2月府議会で否決されたばかりのWTCへの府庁移転を再度持ち出した橋下知事や、破たんした大型開発の反省なく市民にツケをまわす平松大阪市長。その背後には、ベイエリア開発と大手前の再開発で儲けたい財界の存在や、道州制への意向が明確である。

煙突1本20億円のゴミ焼却場

「開発ではなく暮らし支援を最優先に」と求める各種団体が、運動を進めるためにまず現状の把握をするために集まったのである。

船は強い風を押し切って咲洲へ向かい、海上からWTC・ATCを眺める。さすが西日本一の超高層ビル（256㍍）、堂々たる外観である。でもここは海上の埋立地、地震になればとの不安が頭をよぎる。

実はWTCは阪神大震災の1カ月後に竣工、引き渡され、地震の被害は不明のまま説明はない。もちろん改正された耐震基準は満たしていない。テレビでも高層ビルは横揺れが激しく、住人が家具などに潰される危険が訴えられているが、地震の時WTCは無人だったのだ。東南海、南海地震が確実に迫っている。

問題は建物だけではない。高速道路橋とトンネルのみに頼る人工島で、地震と津波が起こればアクセスルートが断たれ「孤島」となる。災害発生時に救援と復旧活動の司令部となるべき府庁は、緊急に職員さえ集まることができず機能は麻痺する。WTC移転は致命的な欠陥を持つのである。

船は反転して夢洲へ向かう。夢洲は広大な埋立地で、3基の最新式コンテナバースが並んでいる。1基338億円というが、コンテナも人影も見当たらない。夢洲はコンテナバース以外、まだ何もない原っぱだ。8月に夢咲トンネルが開通した。事業費1060億円、市は管理費年2億円と借金返済に年30億円負担する。

ぐるりと回って舞洲に向かう。夢洲と舞洲を結ぶ夢舞大橋をくぐる。2001年635億円で完成。世界初の浮体開閉式で、緊急時にはコンピューター制御で90度に開くという。必要で開くことはないが、年1回開く練習をするそうだ。1回開閉するための費用は100万円とか。これこそ無駄遣いではないだろうか。

舞洲はオリンピック自当てにスポーツ、レクリエーション施設が整備された。それにしても人影が全くないのはどうした事だろう。北側に回ると派手な色彩の、ラブホテルと間違うゴミ焼却場があった。煙突1本が20億円、工事費621億円。オリンピックのためだそうだ。

再び大阪湾の真ん中に船は向かう。阪神、神戸の町並みがはっきり見える。夢洲のはるか彼方に新人工島が見えてきた。面積約300㌶を2200億円かけて現在、埋め立て中。

使われていない埋立地がこんなにたくさんあるのは、一体何という事だろう。自分の金でする事業家なら、こんな無茶をするはずはない。テレビは知事の顔を出す前に、この現状を府民に知らせるべきではないだろうか。テレビに出たがる人間にはご用心を。

（新聞部・永田悦夫）

おおさか ウォッチング 211

協会行事案内

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。

お申し込みは 電話 06-6568-7731 ファクス 06-6568-0564

南部地区講習会
「新型インフルエンザの現状と課題」
日時 10月3日（土）午後6時～8時
会場 M&Dホール（保険医会館隣り）
講師 高橋和郎氏（大阪府立公衆衛生研究所副所長）
会費 会員無料、未入会者1万円　定員 100人
※院内感染防止対策研修の対象で、「受講報告書」を発行いたします。必ず事前にお申し込みください

堺・高石・和泉地区　文化企画
堺再発見ウォーク～自然と歴史ロマンを求める～
日時 10月12日（月・祝）午後2時～5時30分
集合 JR阪和線「百舌鳥」駅　参加費 1100円
案内人 堺観光ボランティア協会ガイド

10月度生涯研修
「やさしいプチ矯正とMTMのためのミニインプラント矯正」
日時 10月18日（日）午前10時～午後1時
会場 ホテルモントレグラスミア大阪21階「スノーベリー」（JR「難波」駅すぐ）
講師 宮島邦彰氏（セントルイス大学、ハーバード大学大学院教授）　定員 250人
会費 会員3千円、未入会者1万円

北大阪地区講習会
「有病者・高齢者の歯科治療に際しての注意点」
日時 10月24日（土）午後7時～9時
会場 吹田さんくす1番館4階第3会議室（JR「吹田」駅横）　定員 50人
講師 西田百代氏（関西障害者歯科臨床研究会会長、元府立身体障害者福祉センター附属病院歯科部長）
会費 会員・スタッフ無料、未入会者1万円

記帳講座（2回シリーズ）
「はじめての弥生会計を使ったパソコン記帳」
日時 第1回　10月24日（土）午後2時30分～5時30分
第2回　10月25日（日）午前10時～午後1時
会場 京橋ケースメソッド・弥生カレッジCMC（JR「京橋」駅東口から徒歩3分「大発ビル」）
講師 柄溝宗生氏（協会顧問税理士団）
定員 25人
会費 会員・会員家族1万円（2日間を通じて）

大阪市西部・南部地区合同講習会
「洗練された接遇・マナー基礎編」
日時 11月1日（日）午前10時～午後1時
会場 保険医会館　定員 50人
講師 西出知子氏（接遇マナーインストラクター）
会費 会員院所スタッフ3千円
※上級編は2010年2月7日に開催します

未入会者とは、会員院所に勤める勤務医未入会者です
※協会行事などを本紙で報道するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。
※M&Dホールとは、医科・歯科両協会が協同組合会館5Fに共同で建てたホールの名です。